

第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策の目標（重要業績評価指標（KPI））修正内容

資料3

修正内容		評価指標（KPI）	基準値	目標値	備考	
1 日本で、世界で稼ぐ産業の創出						
ウ 新たな付加価値による農林業で稼ぐ	変更	改定前	新規青年就農者数 (H24～累計)	10人	18人	より成果を現すことが出来る指標に変更するため、市として積極的に取り組んでいる施策についての指標に変更する。
		改定後	「実質化された人・農地プラン」に位置付けられた担い手の数	0件	240件	
	変更	改定前	担い手への農地集積率	40.5%	50.0%	変更する指標の「担い手」は「プランに記載されている農家」で、当指標の「担い手」は「認定農業者」とそれぞれ意味が異なるため、表現をわかりやすくする。
		改定後	認定農業者への農地集積率			
	変更	改定前	認定農業者数（年度末現在）	384人	412人	高齢化や農産物価格低迷などにより、現状では認定農業者は減少傾向にあり、基準値より増加する目標値の設定は難しい。今後は、現状値の維持を目標とする。
		改定後			384人	
エ 地域産業の競争力を高めて稼ぐ	変更	改定前	新規創業者数 (H27～H30 累計)	75人 (R2～R6 累計)	H30年度までの実績を加味した上で、産業支援センターによるサポートや創業支援施策の展開により創業者の増加を見込み、目標値を上方修正する。	
		改定後		100人 (R2～R6 累計)		
2 島田市に住み、好きになる						
イ シティプロモーションによるまちの魅力創造	変更	改定前	市公式ホームページの総ビュー数(年間)	3,133,292件	3,200,000件	今後、LINEによる情報発信時のHPへの誘導等で更なる増加が見込まれることから、目標値を上方修正する。
		改定後		3,500,000件		

第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策の目標（重要業績評価指標（KPI））修正内容

資料3

修正内容		評価指標（KPI）	基準値	目標値	備考	
	新規	<u>島田市緑茶化計画の取組について知っていると答えた市民の割合</u>	—	<u>40.0%</u>	シティプロモーション「島田市緑茶化計画」が市民に理解され、まちへの愛着や誇りが醸成できているか、を計る指標として新規追加する。	
3 希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする						
ア 出逢い、恋して、結婚する	変更	改定前	婚姻率（人口千人当たり）（年度末現在）	3.62	4.00	市の取組がどの程度効果があったかを確実に測れる指標ではなかったことから、市が事務局を務め中心となって取組を進めている、結婚支援ネットワーク加入団体の支援が成婚につながったことを表現できる、わかりやすい指標へ変更する。
		改定後	<u>結婚支援ネットワーク加入団体の支援により成婚した組数（累計）</u>	—	<u>15組</u>	
イ 妊娠、出産する	変更	改定前	妊娠 11 週までに妊娠届を提出した妊婦の割合（年間）	95.8%	98.0%	11 週を超えた届出であっても、早期に医療機関を受診している場合が多く、取組の成果が現れる指標ではなかったため、妊娠、出産に対する不安を軽減させるための取組の成果を計ることができる指標に変更する。
		改定後	<u>赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問）の訪問率（年間）</u>	<u>100%</u>	<u>100%</u>	
ウ 子どもをまんなかに子育てする	変更	改定前	保育所等の待機児童数（4月1日現在）	0人	0人	申し込み状況に応じた定員拡大など、対策を講じた状況も踏まえた指標へ変更する。
		改定後	<u>保育所等の利用申込者数に対する待機児童数の割合（4月1日現在）</u>	<u>0%</u>	<u>0%</u>	
	変更	改定前	放課後児童クラブの待機児童数（4月1日現在）	6人	0人	
		改定後	<u>放課後児童クラブの利用申込者数に対する待機児童数の割合（4月1日現在）</u>	<u>0.8%</u>	<u>0%</u>	

		修正内容		評価指標（KPI）	基準値	目標値	備考
エ 豊かな心をもった子どもを育成する	変更	改定前		学校が楽しい児童の割合	89.0%	92.0%	より「豊かな心」の育成に適した指標へと変更する。（これは、『島田の教育』に記した「豊かな心」の育成に向けた施策の、事業成果（アウトカム）を示す目標数値としても採用している。）
		改定後		<u>自分にはよいところがあると答えた児童の割合</u>	<u>84.9%</u> (H30～R1 平均)	<u>基準値を上回る</u> (R2～R6 平均)	
	変更	改定前		学校が楽しい生徒の割合	86.0%	88.0%	
		改定後		<u>自分にはよいところがあると答えた生徒の割合</u>	<u>70.7%</u> (H30～R1 平均)	<u>基準値を上回る</u> (R2～R6 平均)	
4 水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり							
ア 持続可能なまちづくりの推進	変更	改定前		日常生活を営む範囲で、病院や交通などの都市機能が充足していると感じている市民の割合	—	60.0%	この取組が目に見えて成果が現れるまでは総合戦略の計画期間よりも長い期間を要することもあり、まずは、重要だと感じる市民を更に増やすことを目標とし、指標を変更する。 ※R2実績 54.2%
		改定後		<u>コンパクト・プラス・ネットワークの推進が重要だと思う市民の割合</u>	—	<u>70.0%</u>	
ウ 地域包括ケアの推進	変更	改定前		在宅看取りの率 (在宅死亡者の率) (年間)	37.1%	40.0%	第9次高齢者保健福祉計画と整合のとれた目標値に変更する。（第8次高齢者保健福祉計画の目標値と実績値に差があり、第9次の計画で目標値を見直した。）
		改定後				<u>38.0%</u>	
エ 効率的で、持続性の高い公共交通の構築		削除		地域公共交通人口カバー率	64.4%	90.0%	算出が複雑なこと、移動困難者の概念が分かりづらいこと、また、事業の進捗による数値の変化より地区人口の変動から受ける影響の方が大きいため、指標として適当でないと判断した。

		修正内容		評価指標（KPI）	基準値	目標値	備考
		変更	改定前	地域公共交通エリアカバー率	70.4%	80.0%	算出が複雑であることから、新たな公共交通の広まりをカウントすることで、取組状況を明確化することとし、指標を変更する。 ※ 路線バスによる定時定路線運行など、既存の公共交通手段とは異なる、住民主体による車両運行やスクールバスの活用等による公共交通を運行開始した地区数
			改定後	<u>新たな手段による公共交通の運行を開始した地区の数※（年度末現在）</u>	<u>0地区</u>	<u>8地区</u>	